



ぞうぐみだより



2025年度 11月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

朝夕の冷え込みが増しています。子どもたちは感染症に向けて手洗いうがいを丁寧に行っています。保育室や園庭に漂う金木犀の香りに「甘い匂いがする」と友だちと匂いを楽しみながら秋の訪れを感じているようです。また、就学に向けて就学児検診が始まります。寒さに負けない元気な体を作るためにたくさん動いて体を温めていきたいと思います。

♡ズーラシア遠足♡

遠足に向けて見たい動物や歩くルートを相談しおやつや袋詰めをして自分たちで準備を進めてきました。なかでもバスの座席や園内散策の並び方などを決めている時の子どもたちはとても生き生きとして楽しそうでした。「自分たちで決めたい！」という思いでいっぱいでした。なかなか決まらずじゃんけんが始まりました。大人数のじゃんけんではなかなか決まりません(笑)数回目に「半分に分かれてじゃんけんしよう!」「〇〇ちゃんが休みだから考えなきゃ」という提案に皆が賛成!子どもたちの発言力と団結力に驚きとうれしさを感じた素敵な場面でした。ズーラシアでもその団結力を発揮し動物を見つけると声を、掛け合い場所を交代しながら楽しんでいました。動物の看板にも興味を持ち立ち止まり声に出して読んでいました。「皆〜ヨシズだって〜吉田先生だ〜」と大盛り上がり保育園に戻ってからお迎えにきてくれた吉田先生にすぐに報告していました。週明けには「遠足楽しかったね〜」「また行きた〜い」と遠足の話が尽きませんでした。次々とおしゃべりしながら画用紙に動物やお弁当、地図、バスなど思い思いに描きながら説明をしてくれました。中にはペンギンやウサギを描く子もいて…あれ?見ていない?…「これは見たかった動物です」…と説明されて「ごめんなさい」と言いながら思わず笑ってしまいました。子どもたちの楽しかった気持ちが描かれた素敵な作品になりました。



園庭では虫探しに夢中の子どもたちです。「先生見て!」と笑顔でバケツの中を見せてくれました。思わず「すごい!」と声が出てしまうほどダンゴムシがびっしり!「皆で集めたんだ〜」と得意げな顔◎小さいお友だちが見に来ると器に入れ分けてあげました。最後に一言。「お友だちが食べたら大変」「ダンゴムシさんにもパパとママがいるからお家に帰してあげてね」などどこかで聞いたことのある台詞が聞こえてきました。気持の育ちや異年齢の関わりの大切さを実感しました。

★ぞう組ズーラシア&作品展★

遠足終了後に「ぞう組ズーラシアを作ろう」と子ども主導で始まった自由工作。お部屋は広告で作った動物たちでにぎわっています。「皆にチケットを配りきってもらおう」という提案に皆が賛成!ぞう組ズーラシアの当日は「ドキドキする」と言いながら今まで大切に作りためていたラキューの作品も飾りました。小さいお友だちが来るとラキューの説明や動かし方を教えてあげました。崩れてしまった時はちょっぴり困っていましたがすぐに「後で直すから大丈夫」と言いかっこよかったです。次はカラオケ大会に向けてステージやマイクを制作中です。